

関係者各位

学校法人 菅原学園
仙台保健福祉専門学校
校長 神山 紀久男

仙台保健福祉専門学校 学校関係者評価委員会報告

学校法人菅原学園 仙台保健福祉専門学校では、本校規程に基づき、平成30年7月15日に、学校関係者評価委員会を実施いたしました。内容について以下のとおりご報告いたします。

今後の教育活動や学校運営に反映させるべく、各委員からのご意見やご指導等を真摯に受け止め、教職員一同努力してまいります。

引き続き一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

1. 日 時：平成30年7月15日（木）16:00～17:30
2. 場 所：仙台保健福祉専門学校 316教室
3. 出席者

【平成30年度 学校関係者評価委員】

氏 名	所 属 団 体	備 考
1 高瀬 貞夫 先生	(医療法人) 和康会 仙台クローバークリニック 院長	理学療法科 作業療法科
2 山田 喜広 先生	鹿島デンタルオフィス院長	歯科衛生科
3 巴 雅人 先生	有限会社 車座 社長	介護福祉科
4 大塚 涼子 先生	(社福) ラ・サール会 児童養護施設ラ・サール・ホーム施設長	こども科
5 伊藤 基 先生	卒業生 (NPOみやぎ・せんだい子どもの丘 大和町もみじヶ丘児童館館長)	こども科

【学校教職員】

校 長 神山 紀久男 副校長 熊谷 孝一 教頭 菅原 努 教務部長 飛田 英男
理学療法科科长 山田 剛 作業療法科科长 佐藤 元彦 歯科衛生科科长 横山 さゆり
介護福祉科科长 松野 一江 こども科科长 工藤 愛美

4. 次第

- (1) 開 会
- (2) 校長挨拶 校長 神山 紀久男
- (3) 議長選任 議長 山田委員
- (4) 自己評価報告 副校長
- (5) 討議・意見交換 各委員
- (6) その他
- (7) 閉 会

5. 自己評価結果との質疑

(1) 教育理念・目標

- ・入学式後に保護者会を開催し、教育理念等を説明している。
- ・保護者との信頼関係構築は学校として重要と考える。

(2) 学校運営

- ・各種規定を整備、情報公開等を実践している。随時点検を行いながらさらなる充実を望むところである。
- ・学内のIT, システム関係を整備し、学内掲示板を活用することで、情報の共有化や効率化を図っている。

(3) 教育活動

- ・実践力を身に着ける授業に重点を置いているが、さらなる推進を望む。
- ・入学後、早い時期に施設見学等を行うことで、将来の学生の姿が見えるよう支援している。
- ・十分な教育が実施できるよう、教員の増員などを検討している。

(4) 学習成果

- ・基礎学力を引き上げるべく、入学当初より科目別に対応を行っている。
- ・学生生活アンケート「hyper-QU」を実施し、面談等やカウンセリング等で退学防止等に取り組んでいることの意義は大きい。学生へのきめ細かな対応は今後も充実させてほしい。
- ・各科、国家試験を受験するが、昨年の反省を活かし全員合格を目指して、対策授業等を行っている。
- ・今後も就職率100%を継続してゆく。

(5) 学生支援

- ・ 学生への経済的支援は重要であり、特に医療系の学科は授業料が高額であるため、7割は公的な支援（学生支援機構）の奨学金を受けている。
- ・ 学園独自の奨学金を設け経済的支援を実施している。授業料の減免措置についても検討中である。
- ・ 野球部やフットサル、バスケットボール部の活動など、新たな取組みは評価できる。
- ・ 国家試験対策等で放課後遅くまで学習している学生が多くなっている。飲食物の自販機を設置するなど、学生の食生活なども考慮しながら充実を図っている。

(6) 教育環境

- ・ 開設後10年が経過し、教育機器の新規導入の検討も必要になってきている。業界の動向も踏まえつつ検証してゆきたい。
- ・ 全国的に災害（地震・火災・洪水等）が多くなってきている。緊急時に備えた防災計画を見直し備蓄等充実させてゆく必要がある。

(7) 学生の受け入れ募集

- ・ 厳しい状況に変わりはない。SNSなどの発信状況を検討し、活用していくことも必要だと考える。
- ・ スクールバスの増便を検討している。また、学園全体で連携して取り組んでゆく。

(8) 財務

- ・ 意見・異議等なし。

(9) 法令等の遵守

- ・ 規定等も整備されており、問題ないものと思える。
- ・ 将来的に、第三者評価は必要と考える。

(10) 社会貢献・地域貢献

- ・ ボランティア活動等に積極的に参加する学生がみられる。さらなる充実を目指したい。